

2021年11月/日付
物流Weekly記事

CONPASの導入で港湾物流の 効率化はぐいすまで進むか

コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナト
レーラのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送
の効率化及び生産性の向上を図るために、国交省では情報
通信技術を活用した「CONPAS（＝コンパス、新・港
湾情報システム）」を開発。横浜港南本牧ふ頭コンテナター
ミナルをケーススタディとして、3月には阪神港でも1回
目の試験運用が実施された。コンパスによって、港湾物流
の効率化と生産性向上はぐいすまで進むのか取材した。

情報通信技術を活用したコンテナ輸送 南本牧ふ頭コンテナ
効率化の取り組みをターミナルで行って、横浜にも事務所
を進めている国交省関 来た試験運用（8を構えている東京の
東地方整備局では、回）を経て、4月か 陸運事業者からも
コンテナ輸送の効率 ら本格運用を始めて 「コンパスによる時
化及び生産性の向上 おり、その結果をま 間の短縮はみられ
を図ることを目的に とめている状況にあ る」と効果が出てい
コンパスの開発を ることを認めている
行っている。現在 は、南本牧では、コン ライアルから、本格

運用で本数が増えて いった場合でも制度 が維持できるのであ れば、大いに効果が ある」と期待されて いる。

コンパスは、地方 展開を前提に開発が 行われて来た。関東 地方整備局によると 「それぞれのターミ ナルにはボトルネッ クというのがあっ て、代別すると2つ あって、一つはゲー トであり、もう一つ は、ターミナルのC Y（＝シーウェイ、コ ンテナヤード）内の 荷役であると考えら れる」とし、「各港

やターミナルによっ て条件は全然違ふと いうことを大前提と して考えている」と している。

「コンパスはシス テムだが、そもそも のコンセプトは、港 やターミナルのルー ルだと考えている」とし、「ターミナル のお客は船社で、陸 運のお客は海貨や荷 主なので、双方には 直接の契約関係が無 いため、陸運に配慮 した仕組みはできて いなかった。そのた め、国はコンパスを、 合意形成を図るため のツールとしても考 性を評価したもの」

に於いて、横浜港が 世界一効率的なター ミナルとして発表も されていることから も証明されている。

このほか、コンパ

ゲート前待機の解消に向けた取組（CONPASの導入）

国交省 国土交通省
令和元年12月20日
第3回港湾振興会議

○コンテナターミナル周辺の混雑が深刻化する中、情報技術の活用により、ゲート処理及びヤード内荷役作業を効率化するための実証を実施中。横浜港での実証を踏まえ、今後他港へも拡大。

※Container Fast Pass/ゲート処理等の効率化やセキュリティの向上を目的としたシステム



船内・船外
ゲート前
ゲート
ヤード

搬入・搬出の予約制度
搬入・搬出の予約制度を導入し、船中・船外での搬入・搬出の予約を分けて管理する。ターミナル全体の搬入・搬出の予約を管理する。

PSカード活用
搬入・搬出の予約制度を導入し、PSカード（ICチップ付き）を船中・船外での搬入・搬出の予約に活用する。

搬入情報の事前照会
搬入・搬出の予約制度を導入し、搬入・搬出の予約情報を事前に照会する。

重要位置情報の活用
搬入・搬出の予約制度を導入し、重要位置情報を活用する。

※TOS：ターミナルオペレーションシステム

情報技術の活用によるコンテナ搬入・搬出処理能力の向上

コンパスの導入

これによって、南本牧のモノをそのまま導入しただけでは駄目だということ、それぞ

ミナルはターミナルの導入による効果は、手入力に要する時間が削減できるとともに、誤入力も防ぐことができ、ゲート処理時間を短縮する「PSカードの活用」や、搬入手続きをコンテナがゲートに到着する前に実施する「搬入情報の事前照会」、最後にETC2.0の普及も兼ねた「位置情報の活用」で荷役の準備時間を確保するなど、それぞれに成果を出している。

こうした結果から、「関心を持つ人が増えてきて、議論が芽生えるようになった」とし、「勘違いしていたんだけど、南本牧のモノをそのまま導入しただけでは駄目だということ、それぞ